

男女共通の ユニフォームを採用

～ジェンダーレスに向けた carinaの取り組み

carinaでは企業ユニフォームの見直しを行い、男女共通のユニフォームを新たに採用いたしました。性別による境界をなくし、従業員の多様な価値観を尊重するジェンダーレスな会社を目指しています。

✓ 企業ユニフォームの変更によりジェンダーレスへ



ジェンダーレスとは、社会的・文化的につくられた性差をなくそうという考え方です。具体的には、「男性らしさ」「女性らしさ」といった固定概念を取り払い、男女の境界をつくらないことをいいます。

ジェンダー（gender）は社会的性差や文化的性差を意味する言葉であり、身体的な性別（sex）とは区別されます。

近年は学校の制服や企業のユニフォームをジェンダーレス化する動きが出てきているものの、多くの学校・企業において男性はスラックス、女性はスカートというイメージが固定化されています。

カーリーナでは性別に関係なく着用できる男女共通のユニフォームに切り替えることで、ユニフォームにおける「男性」「女性」の枠組みを取り払いました。従業員の個性や多様性を尊重し、誰もが働きやすいと感じられるジェンダーレスな会社を目指しています。

また、ジェンダー平等の実現は、世界が2030年までに達成すべき国際目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」においても掲げられています。

ジェンダーレスな会社をつくることは、持続可能なより良い世界を目指していく上でも必要な取り組みなのです。



✓ 男女共通ユニフォームでESG経営にも貢献

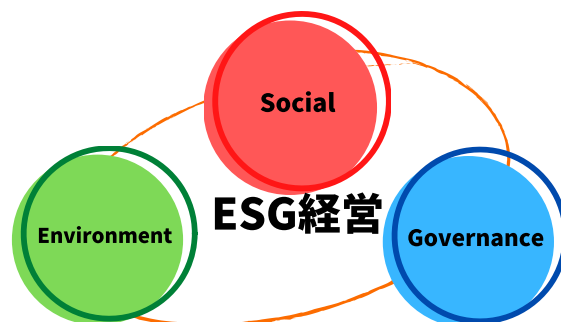
carinaが取り入れた男女共通のユニフォームは、企業の持続的な成長に欠かせないESG経営にも貢献しています。

ESGとは、「Environment（環境）」

「Social（社会）」「Governance（企業統治）」の頭文字をとった言葉です。大量生産・大量消費による経済活動は、モノが溢れる豊かな生活と引き換えに、さまざまな環境問題や社会問題を引き起こしました。

ESG経営は、このような世界が直面している課題に配慮した経営を行うことをいいます。

ジェンダーレスはESGの「Social（社会）」に深く関わる領域であり、ジェンダーによる格差や不平等は社会全体で解決しなければならない課題です。



ジェンダーレスに取り組むことは、男女ともに活躍しやすく、働きがいのある社会の実現に大きく寄与します。

カーリーナでは、男女共通ユニフォームの採用によって「男性らしさ」「女性らしさ」の枠組みをなくし、性別や性差に関係なく誰もが安心して働ける環境づくりを進めてきました。

これからも従業員の多様性に対応できる体制を維持し、世界中が取り組んでいるESG経営やSDGsの達成に向けても貢献してまいります。